



学校名	山形県立加茂水産高等学校
タイトル	学校沖合いで行ったクラゲ採集
コメント	<p>このクラゲ採集は水族館学概論の一環として行っている。この授業では本校に隣接する加茂水族館の協力を得て行われており、このクラゲ採集をはじめ、水槽展示に必要な魚類の採集、レイアウト、キャプションボードの作成など、水族館職員が日頃行っている業務を生徒が行うことで、水族館に対する興味・関心・理解を深めようとしている。また、多くの水族館が展示だけでなく他機関と連携し調査研究も行っているので、研究機関としての水族館という違った一面も学んでいる。</p>



学校名	山形県立加茂水産高等学校
タイトル	山形県の漁業を支えた先覚者「本間孫四郎」についての聞き取り
コメント	<p>課題研究「山形県の漁業を支えた先人・先覚者」で、「本間孫四郎」について、後継者にあたる海産工房本間水産㈱代表取締役本間直弘氏へインタビュー。印象に残っている言葉は、ほとんど家に居らず、魚を獲ることばかりやっていた。また、魚を獲ることが上手で、海には「魚の通る道」と言っていた。</p> <p>山形県は、「陸は立派だけれど、海は最低である。」この言葉をはっきり言い切る人は今まであまり聞いたことがない。しかし、漁獲量や山形県沖の海面を客観的に見ると外れているとは言えない。むしろ当たっていると行った方がいいかもしれない。漁場開拓や漁法の改良に情熱を燃やし、今日の日本海漁業の基礎を築いた。孫四郎の人物像に迫るとともに、尾形六郎兵衛についても調査を行なう予定。</p>